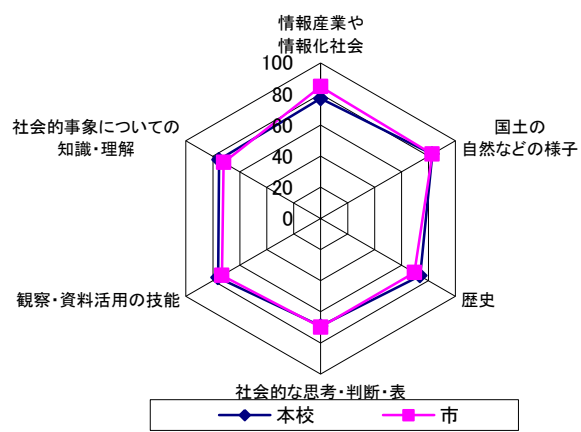


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	77.0	84.7
	国土の自然などの様子	82.8	82.7
	歴史	73.7	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	69.3	69.9
	観察・資料活用・技能	76.1	73.3
	社会的な事象についての知識・理解	75.5	71.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	・平均正答率は、市の平均を7.7ポイント下回った。ホームページを作成する際の注意点についての設問は89.7%と高い正答率を示しているが、情報ネットワークについて考察する設問の正答率が62.1%と低く、市の平均も大きく下回っている。	・複雑化しながら進化していく情報ネットワークや今後の情報化社会の発展を踏まえて、各メディアの特色や情報ネットワークについての正しい知識と判断力、実践力を育てるために、教科の学習だけでなく、日常生活の中でも機会をとらえて支援・指導を継続していく。
国土の自然などの様子	・平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。林業の現状を資料から読み取る設問の正答率86.2%に比べると、環境を守る取り組みについて判断する設問の正答率が79.3%とやや低かった。市の平均よりは3.7%高かった。	・国土の自然などの様子の学習については、おおむねよく身に付いている。林業の今後や環境保全などについて、自分とのかかわりについても考えられるような機会を設けて指導を行う。
歴史	・平均正答率は、市の平均を4.7%上回った。ほとんどの時代について市の平均を上回ったが、天皇中心の国づくりの問題中、奈良時代の正倉院についての設問と平安時代に活躍した人物についての設問の正答率が40%台で低かった。	・歴史については、おおむね理解している。歴史の大きな流れについて、社気情勢と人々の様子や思いを重ねてとらえられるような指導を心がける。